



2019年7月31日

2019年12月期 第2四半期 決算レポート

ハイライト

- 1-6月の為替一定調整後営業利益は、主に国内外たばこ事業におけるプライシングが牽引し、前年同期比5.9%増。財務報告ベースでは、海外たばこ事業における不利な為替影響により9.4%減
- 営業利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は、医薬事業における一時金収入により増益
- 通期見込の為替一定調整後営業利益は変更なし。中間配当金は当初見込通り77円

事業別の主なトピック

➤ 海外たばこ事業

- 1-6月のドルベースの為替一定調整後営業利益は、堅調なプライシング効果により9.3%増。一方、円ベースではネガティブな為替影響を受け、13.5%減
- 総販売数量は、買収効果により8.2%増。買収効果を除いても、各国市場における堅調なGFBパフォーマンス及び英国や台湾などにおけるシェア伸長により、0.1%増
- 2019年上期において、新たに12の市場でLogic Compactを展開
- 通期見込の為替一定調整後営業利益は、前年度比10.2%増に上方修正

➤ 国内たばこ事業

- 1-6月の調整後営業利益は、プライシング効果により、5.5%増
- Ploom TECH+の全国拡販も貢献しRRP販売数量増。RRPカテゴリ内のJTシェアは8%程度
- Ploom Sについては、8月より販売エリアを全国へ拡大予定
- 通期見込の調整後営業利益は前年度比4.3%減に下方修正

代表取締役社長 寺島 正道 CEO コメント:

“2019年度上期の実績は、RMCにおける各国でのシェア伸長及びプライシング効果発現により堅調な結果となった。これは、RMCが引き続き全社の利益創出の基盤であることや、今後もたばこ産業の主要カテゴリーであることを裏付けたものと我々は確信している。

RRPについては、日本国内においてPloom TECH+が全国拡販により力強いスタートを切ったところであり、Ploom Sも8月の全国拡販に向け準備が整った。RRPは我々の将来の成長の柱である。プレゼンスを確立するには時間が必要ではあるが、拡充された製品ポートフォリオへの投資を優先することにより、この状況を打開していく。一方、海外においては、当初計画を上回るペースでLogic Compactの展開市場を拡大し、モメンタムを獲得している。

国内たばこ事業は競争が激化しており、上期の状況に鑑み、通期の利益見込を下方修正した。もっとも、グループ全体での利益成長を目指していくスタンスは維持し、為替一定調整後営業利益の全社通期見込に変更はない。

また、不利な為替影響はあるものの、株主還元方針及び配当予想も変更はしない。”

投資家説明会（電話会議）

投資家説明会（電話会議）は、2019年8月1日、東京時間16時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。（<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>）

(このページは空白です)

2019年度 第2四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2018年 4-6月	2019年 4-6月	増減率	2018年 1-6月	2019年 1-6月	増減率
売上収益	5,602	5,531	-1.3%	10,753	10,585	-1.6%
調整後営業利益	1,698	1,490	-12.2%	3,178	2,878	-9.4%
営業利益	1,556	1,287	-17.2%	3,023	3,113	+3.0%
四半期利益（親会社所有者帰属）	1,121	1,056	-5.8%	2,161	2,265	+4.8%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,698	1,779	+4.8%	3,178	3,366	+5.9%

2019年 4-6月

• 売上収益

国内たばこ事業の増収と海外たばこ事業の堅調なパフォーマンスはあったものの、海外たばこ事業における現地通貨安のネガティブな為替影響と医薬事業での減収により、前年同期比 1.3%減収の 5,531 億円となりました。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益は、医薬事業で減益となったものの、国内外たばこ事業及び加工食品事業での増益により、前年同期比 4.8%増益の 1,779 億円となりました。一方財務報告ベースでは、海外たばこ事業において現地通貨安のネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比で 12.2%減益の 1,490 億円となりました。

• 営業利益

調整後営業利益の減益、買取にかかる商標権償却費の増加、当社連結子会社の鳥居薬品における事業構造改革関連の費用計上等により、前年同期比 17.2%減益の 1,287 億円となりました。

• 親会社の所有者に帰属する四半期利益

一時的な要因もあり税負担率が低下したことが、営業利益の減益を一部相殺し前年同期比 5.8%減益の 1,056 億円となりました。

2019年 1-6月

• 売上収益

国内たばこ事業の増収と海外たばこ事業の堅調なパフォーマンスはあったものの、海外たばこ事業における現地通貨安のネガティブな為替影響と医薬事業・加工食品事業での減収により、前年同期比 1.6%減収の 1兆 585 億円となりました。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益は、医薬事業で減益となったものの、国内外たばこ事業及び加工食品事業での増益により、前年同期比で 5.9%増加し 3,366 億円となりました。一方財務報告ベースでは、海外たばこ事業において現地通貨安のネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比で 9.4%減益となる 2,878 億円となりました。

• 営業利益

調整後営業利益の減益、不動産売却益の減少及び買取にかかる商標権償却費の増加等はあるものの、医薬事業における抗 HIV 薬 6 品の国内における独占的ライセンス契約解消にかかる一時金収入により、前年同期比 3.0%増益の 3,113 億円となりました。

- 親会社の所有者に帰属する四半期利益

金融損益の悪化はあるものの、営業利益の増益及び一時的な要因もあり税負担率が低下したことにより前年同期比 4.8%増加し 2,265 億円となりました。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2018年 4-6月	2019年 4-6月	増減率	2018年 1-6月	2019年 1-6月	増減率
総販売数量	1,073	1,178	+9.8%	2,056	2,225	+8.2%
GFB 販売数量	686	719	+4.8%	1,306	1,363	+4.4%
自社たばこ製品売上収益	3,252	3,207	-1.4%	6,200	6,075	-2.0%
調整後営業利益	1,180	962	-18.5%	2,143	1,854	-13.5%

参考：ドルベース（百万ドル）

自社たばこ製品売上収益	2,981	2,919	-2.1% (+8.9%)*	5,705	5,520	-3.2% (+8.5%)*
調整後営業利益	1,082	876	-19.1% (+6.0%)*	1,971	1,685	-14.5% (+9.3%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

2019年4-6月

- 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、主にギリシャ・バングラデシュ・ロシアにおける買収効果により前年同期比 9.8%増となりました。買収効果及びプラスに作用した流通在庫調整影響を除いた総販売数量は、多くの市場でのシェア伸長が寄与し前年同期とほぼ同水準の 0.1%増となりました。3 か月平均市場シェアについてはイラン・カザフスタン・カナダ・韓国・スーダン・台湾・トルコ・マレーシア・ヨルダンといった市場や、UK を中心とする欧州の多くの市場で伸長を確認しています。GFB 販売数量は、ウinston (+2.6%) ・キャメル (+7.7%) ・メビウス (+1.7%) ・LD (+9.8%) と全ての GFB の力強い成長により、前年同期比 4.8%増となりました。

E-Vapor 製品は展開市場の拡大を続けており、Logic Compact については、7 月時点で既に年度当初の計画を上回り、展開市場数を 14 に広げております。

- 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、市場シェアの上昇や買収に伴う数量効果に加えて、全てのクラスターで単価上昇効果が発現したものの、ネガティブな為替影響を受けたことにより、それぞれ前年同期比 1.4%の減収、18.5%の減益となりました。為替のネガティブな影響は、現地通貨安によるもので、円安のポジティブな動きがこれを一部相殺しました。

ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、イラン・ウクライナ・英国・カナダ・スーダン・ドイツ・トルコ・フィリピン・フランス・ルーマニア等における単価上昇効果 (+158 百万ドル)、及び数量効果 (+108 百万ドル) はあるものの、ネガティブな為替影響 (▲329 百万ドル) を相殺しきれず、前年同期比 2.1%の減収となりました。為替影響を除いた場合は 8.9%の増収となりました。調整後営業利益は、主に単価上昇効果 (+146 百万ドル) により、為替一定ベースでは前年同期比 6.0%の増益となりました。一方財務報告ベースでは、ネガティブな為替影響により、前年同期比 19.1%の減益となりました。

2019年 1-6月

● 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、ギリシャ・バングラデシュ・ロシアにおける買収効果により前年同期比 8.2%増となりました。買収効果及びプラスに作用した流通在庫調整影響を除く総販売数量は、堅調なシェアパフォーマンスにより、前年同期ほぼ同水準の 0.1%減となりました。市場シェアは、イラン・カザフスタン・カナダ・韓国・スーダン・台湾・モロッコ・ヨルダン等様々な市場に加え、UK を中心とする欧州の多くの市場において継続的に伸長しています。

GFB 販売数量は、ウinston (+2.2%)・キャメル (+6.9%)・メビウス (+4.0%)・LD (+8.6%) と全ての GFB の力強い成長により、前年同期比 4.4%増となりました。

● 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ネガティブな為替影響を受けたことにより、それぞれ前年同期比 2.0%の減収、13.5%の減益となりました。全てのクラスターで発現した単価上昇効果、及び市場シェアの伸長や買収に伴う数量効果があったものの、ネガティブな為替影響を相殺しきれませんでした。このネガティブな為替影響は現地通貨安によるもので、ドル対円のポジティブな動きがこれを一部相殺しています。

ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、イラン・ウクライナ・英国・カナダ・スーダン・ドイツ・フィリピン・フランス・ルーマニア等における単価上昇効果 (+309 百万ドル)、及び数量効果 (+173 百万ドル) が一部を相殺したものの、ネガティブな為替影響 (▲667 百万ドル) により、前年同期比 3.2%の減収となりました。為替影響を除いた場合は 8.5%の増収となっております。調整後営業利益は、主に単価上昇効果 (+289 百万ドル) により、為替一定ベースでは前年同期比 9.3%の増益となりました。一方財務報告ベースでは、ネガティブな為替影響により、前年同期比 14.5%の減益となりました。

海外たばこ事業 クラスター別 四半期末実績

South and West Europe

(億本, 百万ドル)	2018年 4-6月	2019年 4-6月	増減率
総販売数量	168	167	-0.6%
GFB 販売数量	137	134	-2.2%
自社たばこ製品売上収益	542	520	-4.1% (+1.5%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

● 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、イタリア・ギリシャ・フランスにおける総需要の減少影響、及びマイナスに作用した流通在庫調整影響により、それぞれ前年同期比 0.6%減、2.2%減となりました。買収効果及び流通在庫影響を除いた総販売数量は、前年同期比 1.0%減となりました。市場シェアは、イタリア・オランダ・ギリシャ・スイス・スペイン・フランス・ベルギー・ルクセンブルグにおいて伸長しました。

● 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、数量効果 (+2 百万ドル) 及び主にフランスで発現した単価上昇効果 (+6 百万ドル) があったものの、ネガティブな為替影響 (▲31 百万ドル) により、4.1%の減収となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 1.5%の増収となりました。

● 市場別実績

フランスにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の減少影響により、それぞれ前年同期比 0.8%減、2.7%減となりました。Fine cut の販売数量は、前年同期比 4.2%増となりました。市場シェアは、ウinston及び

キャメルが牽引し、前年同期比 1.5 パーセントポイント増の 24.0%となりました。
為替一定自社たばこ製品売上収益は、主に単価上昇効果により増収となりました。

イタリアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の減少影響により、それぞれ前年同期比 0.1%減、1.3%減となりました。プラスに作用した流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、2.1%減となりました。Fine cut の販売数量は、主にキャメル及びウinston の貢献により、前年同期比 32.6%増となりました。市場シェアは、ウinston 及びベンソン・アンド・ヘッジズが牽引し、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 24.2%となりました。
為替一定自社たばこ製品売上収益は、ダウントレーディングの拡大により減収となりました。

スペインにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の減少影響、及びマイナスに作用した流通在庫影響により、それぞれ前年同期比 1.7%減、2.6%減となった一方、Fine cut の販売数量は、前年同期比 8.6%増となりました。流通在庫調整によるマイナス影響を除いた総販売数量は、前年同期比 1.5%増となりました。市場シェアは、ウinston 及びキャメルが牽引し、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 25.1%となりました。
為替一定自社たばこ製品売上収益は、マイナスに作用した流通在庫影響により減収となりました。

North and Central Europe

(億本, 百万ドル)	2018 年 4-6 月	2019 年 4-6 月	増減率
総販売数量	138	142	+2.9%
GFB 販売数量	64	74	+15.6%
自社たばこ製品売上収益	563	558	-0.9% (+5.4%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にスロバキア・デンマーク・ドイツ・ポーランドにおける販売数量の増加により、それぞれ前年同期比 2.9%増、15.6%増となりました。市場シェアは、英国・チェコ・ドイツ・ハンガリー・ポーランドにおいて伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな為替影響（▲36 百万ドル）により、前年同期比 0.9%の減収となりました。為替一定ベースでは、特にアイルランド・英国・ドイツ・ハンガリーで発現した単価上昇効果（+20 百万ドル）、及び数量効果（+10 百万ドル）により、前年同期比 5.4%の増収となりました。

- **市場別実績**

ドイツにおける総販売数量、GFB 販売数量、Fine cut の販売数量は、堅調なシェア伸長により、それぞれ前年同期比 0.8%増、19.4%増、0.8%増となりました。市場シェアは、ウinston の伸長が継続していることを主因に前年同期比 0.6 パーセントポイント増の 8.1%となりました。
為替一定自社たばこ製品売上収益は、数量効果及び単価上昇効果により増収となりました。

英国における総販売数量は、総需要の減少影響により、前年同期比 0.6%減となったものの、Fine cut の販売数量は、Sterling が牽引し、前年同期比 7.1%増となりました。市場シェアは、紙巻たばこのベンソン・アンド・ヘッジズ、Fine cut の Sterling が牽引し、前年同期比 1.8 パーセントポイント増の 42.4%となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、主に単価上昇効果により増収となりました。

CIS+

(億本, 百万ドル)	2018年 4-6月	2019年 4-6月	増減率
総販売数量	333	360	+7.9%
GFB 販売数量	252	246	-2.6%
自社たばこ製品売上収益	744	753	+1.2% (+6.5%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、ロシアにおける買収効果、及びウズベキスタン・カザフスタンの好調な実績が牽引し、前年同期比 7.9%増となりました。買収効果及びマイナスに作用した流通在庫影響を除いた総販売数量は、前年同期比 4.9%減となりました。GFB 販売数量は、総需要の減少影響により、前年同期比 2.6%減となりました。市場シェアは、カザフスタン・ルーマニア・ロシアにおいて伸長しました。

• 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、ほぼ全ての市場で発現した単価上昇効果（+28 百万ドル）、及び数量効果（20 百万ドル）が、ネガティブな為替影響（▲40 百万ドル）を上回り、前年同期比 1.2%の増収となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 6.5%の増収となりました。

• 市場別実績

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアの伸長はあるものの、総需要の減少影響によって、それぞれ前年同期比 0.9%減、3.6%減となりました。市場シェアは、ウinston及びソプラニーが牽引し、前年同期比 1.1 パーセントポイント増の 28.2%となりました。

為替一定自社たばこ製品売上収益は、堅調な単価上昇効果により増収となりました。

ロシアにおける総販売数量は、4-6 月における総需要の減少率が 4.2%と推計²される中、買収効果により前年同期比 16.0%増となり、3 カ月平均市場シェアは 39.6%に達しました。買収効果を除いた総販売数量及び GFB 販売数量は、それぞれ前年同期比 5.6%減、1.2%減となりました。GFB 市場シェアは LD の牽引により前年同期比 0.4 パーセントポイント増の 25.0%となりました。当社はドンスコイ・タバックの買収により市場の中で大きな割合を占めるバリュー価格帯のリーダーシップを獲得しており、LD のパフォーマンスはそのリーダーシップを更に強固なものとしています。

為替一定自社たばこ製品売上収益は、買収効果による数量効果により増収となりました。

Rest-of-the-World

(億本, 百万ドル)	2018年 4-6月	2019年 4-6月	増減率
総販売数量	434	510	+17.5%
GFB 販売数量	234	266	+14.0%
自社たばこ製品売上収益	1,131	1,088	-3.8% (+15.8%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、バングラデシュにおける買収効果及び流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 17.5%と大幅増となりました。買収効果及びプラスに作用した流通在庫影響を除いた総販売数量は、主にイラン・サウジア

ラビア・台湾・チュニジア・トルコ・レバノンが牽引し、前年同期比 3.6%増となりました。GFB 販売数量は、全ての GFB で増加し、前年同期比 14.0%増となりました。市場シェアは、イラン・カナダ・韓国・スーダン・台湾・トルコ・マレーシア・南アフリカ・モロッコ・ヨルダン等複数の市場で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな為替影響（▲223 百万ドル）により、前年同期比 3.8%の減収となりました。為替一定ベースでは、単価上昇効果（+104 百万ドル）及び数量効果（+75 百万ドル）により、前年同期比 15.8%の大幅な増収となりました。

- **市場別実績**

イランにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、キャメル伸長に牽引され、それぞれ前年同期比 11.5%増、8.8%増となりました。流通在庫調整によるマイナス影響を除いた場合、総販売数量は前年同期比 12.1%増となりました。市場シェアは、前年同期比 3.1 パーセントポイント増の 57.8%となりました。

為替一定自社たばこ製品売上収益は、数量効果及び単価上昇効果により増収となりました。

台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、それぞれ前年同期比 4.1%、4.3%増となりました。流通在庫調整によるマイナス影響を除いた総販売数量は、総需要の増加率を上回り、前年同期比 5.3%増となりました。市場シェアは、2.3 パーセントポイントと顕著に増加し 43.9%となりました。

為替一定自社たばこ製品売上収益は、着実に数量効果が発現したものの、ダウントレーディングによるネガティブな影響を打ち消せず、減収となりました。

トルコにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の増加影響及びプラスに作用した流通在庫影響により、それぞれ前年同期比 28.3%増、33.2%増となりました。流通在庫調整によるプラス影響を除いた総販売数量は、前年同期比 21.9%増となりました。市場シェアは、主にウinstonに牽引され、0.3 パーセントポイント増の 28.3%となりました。

為替一定売自社たばこ製品上収益は、数量効果及び単価上昇効果により増収となりました。

¹出典：IRI、Logista、Nielsen 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2019 年 6 月時点の 12 ヶ月移動平均ベース。スイス・スペイン・ハンガリーに関するデータは 2019 年 5 月時点の 12 ヶ月移動平均ベース。12 ヶ月移動平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期末時点の 12 ヶ月移動平均ベース。

²出典：JTI 内部データ 2019 年 4-6 月ベースの対前年同一期間比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2018年 4-6月	2019年 4-6月	増減率	2018年 1-6月	2019年 1-6月	増減率
紙巻総需要*	340	318	-6.6%	660	612	-7.2%
紙巻販売数量*	208	194	-6.8%	404	373	-7.5%
自社たばこ製品売上収益	1,429	1,489	+4.2%	2,722	2,823	+3.7%
調整後営業利益	546	582	+6.6%	1,035	1,092	+5.5%

2019年4-6月

紙巻販売数量

紙巻総需要は、18年10月に実施した定価改定の影響、RRP市場の拡大及び趨勢減により、前年同期比6.6%減となりました。当社の紙巻シェアについては、キャメルがダウントレーディングを捉え伸長しているものの、低価格帯での競争激化により、前年同期と比べ0.2パーセントポイント減の61.0%となりました。この結果、当社の紙巻販売数量は前年同期比6.8%減となりました。

RRP販売実績

国内たばこ市場におけるRRPの市場占有率は22%台半ば（出荷ベース）と推計しています。当社のRRP販売数量は紙巻たばこ換算ベースで前年同期と比べ3億本増加の8億本となっており、実需ベースの当社のRRPカテゴリ内シェアは8%程度と推計しています。なお、Ploom TECH+については2019年6月から全国に販売を拡大しており、Ploom Sについては、8月から販売エリアを全国に拡大いたします。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少影響（▲84億円）があったものの、紙巻単価上昇効果（+88億円）及びRRP関連売上収益の増加により、前年同期比4.2%の増収となりました。なお、RRP関連売上収益は前年同期と比べ51億円増加し181億円となっております。調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響（▲70億円）があるものの、紙巻単価上昇効果（+88億円）等により、前年同期比6.6%の増益となりました。

2019年1-6月

紙巻販売数量

紙巻総需要は、18年10月に実施した定価改定の影響、RRP市場の拡大及び趨勢減等により、前年同期比7.2%減となりました。当社の紙巻シェアは、キャメルがダウントレーディングを捉え伸長しているものの、低価格帯での競争激化により、前年同期と比べ0.2パーセントポイント減の61.0%となりました。この結果、当社の紙巻販売数量も前年同期比7.5%減となりました。

RRP販売実績

国内たばこ市場におけるRRPの市場占有率は22%台半ば（出荷ベース）と推計しています。当社のRRP販売数量は紙巻たばこ換算ベースで前年同期と比較して6億本増加の14億本となりました。実需ベースの当社のRRPカテゴリ内シェアは8%程度と推計しています。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少影響（▲179億円）があったものの、紙巻単価上昇効果

* 本四半期より国内たばこ事業の実績及び見通しにリトルシガー製品の数量を含めており、比較対象の前年同期実績も遡及修正しております。本頁に記載の分析の中でこの影響を受ける指標は以下の通りです。詳細はP25のデータシート、及びP27の「用語の定義」をご覧ください。

紙巻総需要、紙巻販売数量、紙巻シェア、及びRRP市場占有率
またこのうち、紙巻総需要、紙巻シェア及びRRP占有率はJT推計値です。

(+180 億円) 及び RRP 関連売上収益の増加により、前年同期比 3.7%の増収となりました。なお、RRP 関連売上収益は前年同期と比べ 92 億円増加し 304 億円となっております。調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響 (▲148 億円) があるものの、紙巻単価上昇効果 (+180 億円) 等により、前年同期比 5.5%の増益となりました。

医薬事業

(億円)	2018 年 4-6 月	2019 年 4-6 月	増減率	2018 年 1-6 月	2019 年 1-6 月	増減率
売上収益	265	190	-28.3%	532	418	-21.4%
調整後営業利益	37	12	-66.2%	114	57	-49.8%

2019 年 4-6 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、抗 HIV 薬 6 品の国内ライセンス契約解消の影響等により、前年同期比 28.3%減収となりました。調整後営業利益については、売上収益の減少により、前年同期比 66.2%減益となりました。

2019 年 1-6 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、抗 HIV 薬 6 品の国内ライセンス契約解消の影響等により、前年同期比 21.4%の減収となりました。調整後営業利益については、売上収益の減少により、前年同期比 49.8%減益となりました。

加工食品事業

(億円)	2018 年 4-6 月	2019 年 4-6 月	増減率	2018 年 1-6 月	2019 年 1-6 月	増減率
売上収益	393	394	+0.3%	770	754	-2.1%
調整後営業利益	7	13	+80.4%	14	16	+11.6%

2019 年 4-6 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、ステープル商品及び調味料の販売伸長が、主に利益率が低い商品での販売減少を上回り、前年同期と同水準の 0.3%増収となりました。

調整後営業利益については、原材料費及び物流費の上昇があったものの、価格改定効果、商品構成の改善及びコスト低減により、前年同期と比べて 6 億円の増益となりました。

2019 年 1-6 月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、ステープル商品及び調味料の販売が伸長したものの、主に利益率が低い商品の販売減少影響を相殺しきれず、前年同期比 2.1%の減収となりました。

調整後営業利益については、売上収益の減少、原材料費及び物流費の上昇があったものの、価格改定効果、商品構成の改善及びコスト低減により、前年同期と比べて 2 億円の増益となりました。

全社見込

(億円)	2019 当初見込	2019 今回見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	22,000	21,700	-300	-2.1%
調整後営業利益	5,460	5,230	-230	-12.2%
営業利益	5,400	5,180	-220	-8.3%
当期利益（親会社所有者帰属）	3,700	3,600	-100	-6.7%
為替一定ベース 調整後営業利益	6,100	6,100	-	+2.4%

- **売上収益**

医薬事業において上方修正を見込むものの、国内たばこ事業における RRP 販売数量前提の見直しを主要因として 300 億円下方修正し、前年度比 2.1%の減収となる見通しです。

- **調整後営業利益**

国内たばこ事業における RRP 販売数量前提の見直しはあるものの、海外たばこ事業において上期の堅調なモメンタムを反映したこと、医薬事業における調整後営業利益の上方修正等がこれを相殺し、為替一定ベースでは年度当初見込から変更なく、前年度比 2.4%の増益を見込んでいます。

財務報告ベースでは為替前提の見直しにより 230 億円下方修正し、前年度比 12.2%の減益を見込んでいます。

- **営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益**

主に為替前提の見直しにより、営業利益を 220 億円下方修正、当期利益を 100 億円下方修正し、前年度比でそれぞれ 8.3%、6.7%の減益を見込んでいます。

事業別見込

海外たばこ事業

(億円)	2019 当初見込	2019 今回見込	対当初見込	対前年実績
総販売数量	3%台半ばの増加	約 5%の増加		
GFB 販売数量	約 1%の増加	3%台半ばの増加		
自社たばこ製品売上収益	12,400	12,400	-	-0.9%
調整後営業利益	3,560	3,380	-180	-12.1%
参考：ドルベース（百万ドル）				
自社たばこ製品売上収益	11,300	11,400	+100	+0.6% (+8.1%)*
調整後営業利益	3,240	3,100	-140	-11.3% (+10.2%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

● 販売数量

総販売数量は上期での想定を上回る数量実績とシェア伸長が確認できたことから、約 5%の増加へ上方修正いたしました。また GFB 販売数量についても、3%台半ばの増加へ上方修正いたしました。

● 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

円ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな為替影響の拡大を見込むものの、上期の事業パフォーマンスを踏まえて当初見込を据え置き、前年度比 0.9%の減収となる見通しです。調整後営業利益については、ネガティブな為替影響を織り込み 180 億円下方修正、前年度比 12.1%の減益を見込んでいます。

ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、上記の販売数量見直し、及び当初想定を超える単価上昇効果の発現により、為替一定ベースで 300 百万ドル上方修正し、前年度比 8.1%の成長を見込んでいます。これらが現地通貨安のネガティブな為替影響を上回り、財務報告ベースでは、100 百万ドル上方修正、前年度比 0.6%の増収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益の上方修正に伴う利益増加分の一部を、持続的な利益成長に向けた紙巻・RRP への再投資に充当すること等を織り込み、50 百万ドル上方修正し、前年度比 10.2%の成長を見込んでいます。財務報告ベースではネガティブな為替影響により 140 百万ドル下方修正し、前年度比 11.3%の減益を見込んでいます。

国内たばこ事業

(億円)	2019 当初見込	2019 今回見込	対当初見込	対前年実績
紙巻総需要*	7%台前半の減少	6%台後半の減少		
紙巻販売数量*	7%台後半の減少	約 8%の減少		
自社たばこ製品売上収益	6,200	5,800	-400	-0.4%
調整後営業利益	2,150	2,000	-150	-4.3%

販売数量

国内市場のたばこ総需要及び紙巻総需要については、上期の実績を反映し、それぞれ約 5%の減少から約 4%の減少、7%台前半の減少から 6%台後半の減少に上方修正いたします。RRP の市場占有率も、上期実績が年初想定を上回っていることを踏まえ、通年で 22~23%から約 23%の構成比（出荷ベース）へ見立てを変更いたしました。

当社の紙巻販売数量前提につきましては、RRP 市場の拡大影響及び紙巻市場の低価格帯競争激化の影響を反映し、7%台後半の減少から約 8%の減少へ下方修正いたします。RRP 販売数量前提につきましては、上期の Ploom TECH の販売実績に鑑み、50 億本相当から 40 億本相当へ下方修正いたします。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、主に RRP 販売数量前提の見直しを背景に 400 億円下方修正し、前年度比 0.4%の減収となる 5,800 億円を見込んでいます。

調整後営業利益については、紙巻たばこ、RRP いずれにおいても販促費・一般管理費の最適化に取り組んでいるものの、RRP 販売数量前提の下方修正に伴う利益の減少のみならず、RRP 単位当加工費の上振れ、RRP デバイス・アクセサリ収益の減少や国内免税販売の弱含み等、ネガティブ影響を相殺しきれず、150 億円下方修正し前年度比 4.3%減益の 2,000 億円となる見通しです。

医薬事業

(億円)	2019 当初見込	2019 今回見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	810	840	+30	-26.3%
調整後営業利益	50	100	+50	-64.8%

売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社連結子会社の鳥居薬品において当年上期の売上が当初の計画を上回って推移したことを受け、30 億円上方修正いたしました。しかしながら抗 HIV 薬 6 品の国内におけるライセンス契約解消の影響等により前年度比で引き続き減収を見込んでいます。

調整後営業利益は、売上収益の上方修正に加え、研究開発費の精査により 50 億円上方修正し、前年度比 64.8%の減益を見込んでいます。

* 本四半期より国内たばこ事業の実績及び見通しにリトルシガー製品の数量を含めており、比較対象の前年同期実績も遡及修正しております。本頁に記載の分析の中でこの影響を受ける指標は以下の通りです。詳細はP25のデータシート、及びP27の「用語の定義」をご覧ください。

たばこ総需要、紙巻総需要、紙巻販売数量、及びRRP市場占有率
またこのうち、たばこ総需要、紙巻総需要及びRRP占有率はJT推計値です。

加工食品事業

(億円)	2019 当初見込	2019 今回見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	1,620	1,620	-	+0.4%
調整後営業利益	50	50	-	+21.3%

- **売上収益及び調整後営業利益**

売上収益及び調整後営業利益は、当初見込からの変更はなく、前年度比 0.4%の増収、前年度比 21.3%の増益を見込んでいます。

データシート

2019年 Q2実績 (累計)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2018 Q2	2019 Q2	増減	増減率
売上収益	10,753	10,585	-167	-1.6%
営業利益	3,023	3,113	+90	+3.0%
調整後営業利益	3,178	2,878	-300	-9.4%
税引前利益	2,904	2,906	+3	+0.1%
四半期利益	2,176	2,384	+209	+9.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,161	2,265	+104	+4.8%
中間配当(円)	75.00	77.00	+2.00	+2.7%
基本的EPS* (円)	120.64	127.23	+6.59	+5.5%

*基本的EPSは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

(参考) 全社

(単位：億円)

	2018 Q2	2019 Q2	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	3,178	3,366	+188	+5.9%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2018 Q2	2019 Q2	増減	増減率
売上収益	10,753	10,585	-167	-1.6%
国内たばこ事業	2,907	3,027	+120	+4.1%
自社たばこ製品売上収益	2,722	2,823	+101	+3.7%
海外たばこ事業	6,509	6,357	-152	-2.3%
自社たばこ製品売上収益	6,200	6,075	-125	-2.0%
医薬事業	532	418	-114	-21.4%
加工食品事業	770	754	-16	-2.1%
その他	34	29	-5	-14.2%
全社 営業利益	3,023	3,113	+90	+3.0%
国内たばこ事業	951	1,011	+60	+6.3%
海外たばこ事業	1,954	1,587	-367	-18.8%
医薬事業	114	625	+511	+449.6%
加工食品事業	14	14	-0	-1.4%
その他/消去	-10	-124	-114	-
調整合計	-155	235	+390	-
国内たばこ事業	-84	-81	+3	-
海外たばこ事業	-189	-267	-78	-
医薬事業	-	568	+568	-
加工食品事業	0	-2	-2	-
その他/消去	118	17	-101	-85.7%
全社 調整後営業利益	3,178	2,878	-300	-9.4%
国内たばこ事業	1,035	1,092	+57	+5.5%
海外たばこ事業	2,143	1,854	-289	-13.5%
医薬事業	114	57	-57	-49.8%
加工食品事業	14	16	+2	+11.6%
その他/消去	-128	-141	-13	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2018 Q2	2019 Q2	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,705	5,520	-185	-3.2%
為替一定自社たばこ製品売上収益	5,705	6,187	+482	+8.5%
調整後営業利益	1,971	1,685	-287	-14.5%
為替一定調整後営業利益	1,971	2,155	+183	+9.3%

2019年 Q2実績 (累計)

3. 減価償却費及び償却費

(単位：億円)

	2018 Q2	2019 Q2*	増減
全社 減価償却費及び償却費	764	840	+76
国内たばこ事業	268	277	+9
海外たばこ事業	427	492	+65
医薬事業	26	28	+2
加工食品事業	32	34	+2
その他/消去	11	9	-2

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2018年12月末	2019年6月末	増減
資産合計	54,614	54,673	+59
資本合計	27,004	27,260	+256
親会社の所有者に帰属する持分	26,306	26,455	+149
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	1,468.44	1,491.44	+23.00

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2018年12月末	2019年6月末	増減
手元流動性	3,087	3,284	+197
有利子負債	9,876	10,493	+617

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2018 Q2	2019 Q2	増減
営業キャッシュフロー	2,292	2,219	-72
投資キャッシュフロー	-608	-823	-214
財務キャッシュフロー	-2,089	-1,040	+1,049
現金及び現金同等物の期首残高	2,855	2,821	-34
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-76	-85	-10
現金及び現金同等物の期末残高	2,374	3,092	+718
FCF	1,818	1,323	-495

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2018 Q2	2019 Q2	増減
資本的支出	618	565	-53
国内たばこ事業	215	174	-41
海外たばこ事業	265	289	+24
医薬事業	34	43	+9
加工食品事業	79	29	-50
その他/消去	25	30	+5

8. 為替

	2018 Q2	2019 Q2	増減	増減率
USドル/円	108.67	110.06	+1.39	1.3%安
USドル/RUB	59.34	65.34	+6.00	9.2%安
USドル/GBP	0.73	0.77	+0.05	6.0%安
USドル/EUR	0.83	0.89	+0.06	6.6%安
USドル/CHF	0.97	1.00	+0.03	3.3%安
USドル/TWD	29.53	30.96	+1.43	4.6%安
USドル/TRY	4.08	5.62	+1.53	27.3%安
USドル/IRR	44,974	96,571	+51,597	53.4%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

2019年度 修正見込 (2019/7/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	22,160	21,700	-460	-2.1%
営業利益	5,650	5,180	-470	-8.3%
調整後営業利益	5,955	5,230	-725	-12.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,857	3,600	-257	-6.7%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,955	6,100	+145	+2.4%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
基本的EPS	215.31	202.62	-12.69	-5.9%
1株当たり配当金	150.00	154.00	+4.00	+2.7%
ROE (親会社所有者帰属持分当期利益ベース)	14.3%	13.7%	-0.6%pt	

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	22,160	21,700	-460	-2.1%
国内たばこ事業	6,214	6,200	-14	-0.2%
自社たばこ製品売上収益	5,824	5,800	-24	-0.4%
海外たばこ事業	13,123	13,000	-123	-0.9%
自社たばこ製品売上収益	12,507	12,400	-107	-0.9%
医薬事業	1,140	840	-300	-26.3%
加工食品事業	1,614	1,620	+6	+0.4%
その他	68	60	-8	-12.0%
全社 営業利益	5,650	5,180	-470	-8.3%
国内たばこ事業	1,925	1,840	-85	-4.4%
海外たばこ事業	3,395	2,870	-525	-15.5%
医薬事業	263	670	+407	+154.8%
加工食品事業	29	50	+21	+71.3%
その他/消去	38	-260	-298	-
全社 調整後営業利益	5,955	5,230	-725	-12.2%
国内たばこ事業	2,090	2,000	-90	-4.3%
海外たばこ事業	3,845	3,380	-465	-12.1%
医薬事業	284	100	-184	-64.8%
加工食品事業	41	50	+9	+21.3%
その他/消去	-306	-300	+6	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,330	11,400	+70	+0.6%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,330	12,250	+920	+8.1%
調整後営業利益	3,493	3,100	-393	-11.3%
為替一定調整後営業利益	3,493	3,850	+357	+10.2%

2019年度 修正見込 (2019/7/31公表)

4. FCF (単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減
FCF	1,056	3,600	+2,544

5. 資本的支出 (単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減
資本的支出	1,598	1,450	-148
国内たばこ事業	554	470	-84
海外たばこ事業	757	800	+43
医薬事業	113	50	-63
加工食品事業	127	70	-57
その他/消去	46	50	+4

6. 修正業績予想の主な前提条件

- 国内たばこ事業（紙巻たばこにリトルシガーを含み、過年度数値についても遡及して開示）
 - ・ 2019年の国内たばこ総需要（自社推計）：対前年で約4%の減少（2018年の国内たばこ総需要は推計1,682億本）
 - ・ 2019年の国内紙巻たばこ総需要（自社推計）：対前年で6%台後半の減少（2018年の国内紙巻たばこ総需要は1,336億本）
 - ・ 2019年のJT紙巻販売数量：対前年で約8%の減少（2018年のJT紙巻販売数量は820億本）
 - ・ RRP市場占有率（自社推計,出荷ベース）：2019年は通年で約23%（2018年は通年で約21%）
 - ・ 2019年のJT RRP販売数量：紙巻換算で40億本程度
- 海外たばこ事業
 - ・ 2019年の総販売数量：対前年で約5%の増加（2018年の総販売数量は4,276億本）
 - ・ 2019年のGFB販売数量：対前年で3%台半ばの増加（2018年のGFB販売数量は2,664億本）

<為替前提レート>

	2018年度 実績	2019年度 修正見込	増減	増減率
USドル/円	110.44	109.00	-1.44	1.3%高
USドル/RUB	62.68	65.30	+2.62	4.0%安
USドル/GBP	0.75	0.79	+0.04	5.1%安
USドル/EUR	0.85	0.89	+0.04	4.8%安
USドル/CHF	0.98	0.99	+0.01	1.2%安
USドル/TWD	30.14	31.10	+0.96	3.1%安
USドル/TRY	4.82	5.80	+0.98	16.8%安
USドル/IRR	61,649	107,000	+45,351	42.4%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

**2019年度 修正見込
vs 当初見込
(2019/7/31公表)**

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2019年度 当初見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	22,000	21,700	-300	-1.4%
営業利益	5,400	5,180	-220	-4.1%
調整後営業利益	5,460	5,230	-230	-4.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,700	3,600	-100	-2.7%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2019年度 当初見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	6,100	6,100	-	-

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2019年度 当初見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
基本的EPS	206.54	202.62	-3.92	-1.9%
1株当たり配当金	154.00	154.00	-	-
ROE (親会社所有者帰属持分当期利益ベース)	13.5%	13.7%	0.2%pt	

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2019年度 当初見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	22,000	21,700	-300	-1.4%
国内たばこ事業	6,500	6,200	-300	-4.6%
自社たばこ製品売上収益	6,200	5,800	-400	-6.5%
海外たばこ事業	13,000	13,000	-	-
自社たばこ製品売上収益	12,400	12,400	-	-
医薬事業	810	840	+30	+3.7%
加工食品事業	1,620	1,620	-	-
その他	60	60	-	-
全社 営業利益	5,400	5,180	-220	-4.1%
国内たばこ事業	1,990	1,840	-150	-7.5%
海外たばこ事業	3,050	2,870	-180	-5.9%
医薬事業	610	670	+60	+9.8%
加工食品事業	45	50	+5	+11.1%
その他/消去	-320	-260	+60	-
全社 調整後営業利益	5,460	5,230	-230	-4.2%
国内たばこ事業	2,150	2,000	-150	-7.0%
海外たばこ事業	3,560	3,380	-180	-5.1%
医薬事業	50	100	+50	+100.0%
加工食品事業	50	50	-	-
その他/消去	-350	-300	+50	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2019年度 当初見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,300	11,400	+100	+0.9%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,950	12,250	+300	+2.5%
調整後営業利益	3,240	3,100	-140	-4.3%
為替一定調整後営業利益	3,800	3,850	+50	+1.3%

**2019年度 修正見込
vs 当初見込
(2019/7/31公表)**

4. FCF

(単位：億円)

	2019年度 当初見込	2019年度 修正見込	増減
FCF	3,600	3,600	-

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2019年度 当初見込	2019年度 修正見込	増減
資本的支出	1,560	1,450	-110
国内たばこ事業	570	470	-100
海外たばこ事業	800	800	-
医薬事業	50	50	-
加工食品事業	80	70	-10
その他/消去	60	50	-10

6. 2019年度業績予想の主な前提条件の修正 (vs 2018年度実績)

国内たばこ事業	当初見込	修正見込 (LC*含む)
たばこ総需要**	約5%の減少	→ 約4%の減少
紙巻総需要**	7%台前半の減少	→ 6%台後半の減少
JT紙巻販売数量	7%台後半の減少	→ 約8%の減少
RRP市場占有率**	22%~23%	→ 約23%

*LC:リトルシガー

**JT推計、通年・出荷ベース

海外たばこ事業	当初見込	修正見込
総販売数量	3%台半ばの増加	→ 約5%の増加
GFB販売数量	約1%の増加	→ 3%台半ばの増加

<為替前提レート>

	2019年度 当初見込	2019年度 修正見込	増減	増減率
USドル/円	110.00	109.00	-1.00	0.9%高
USドル/RUB	67.40	65.30	-2.10	3.2%高
USドル/GBP	0.79	0.79	-	-
USドル/EUR	0.88	0.89	+0.01	1.1%安
USドル/CHF	0.99	0.99	-	-
USドル/TWD	31.00	31.10	+0.10	0.3%安
USドル/TRY	5.50	5.80	+0.30	5.2%安
USドル/IRR	85,000	107,000	+22,000	20.6%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

<為替感応度>

修正前提レートからの為替変動が利益に与える影響：2019年調整後営業利益3,100百万ドル（算定ベース）

- ・ドルに対して円以外の全ての通貨が、2019年修正前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、2019年ドルベースAOPが50百万ドル強変動
- ・50百万ドル強の変動を構成する主な通貨および内訳
RUB 30%、GBP 15%、TWD 10%強、EUR 10%弱、IRR 5%強、TRY 5%弱、CHF -10%
- ・円換算時は円がドルに対して1円変動すると、円ベース調整後営業利益が31億円程度変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー (累計)

	2018 Q2	2019 Q2	増減	増減率	
総販売数量	2,056	2,225	+169	+8.2%	億本
GFB販売数量	1,306	1,363	+57	+4.4%	億本
自社たばこ製品売上収益	6,200	6,075	-125	-2.0%	億円
調整後営業利益	2,143	1,854	-289	-13.5%	億ドル

[参考：ドルベース]

自社たばこ製品売上収益	5,705	5,520	-185	-3.2%	百万ドル
調整後営業利益	1,971	1,685	-287	-14.5%	百万ドル

為替一定ベース

自社たばこ製品売上収益	5,705	6,187	+482	+8.5%	百万ドル
調整後営業利益	1,971	2,155	+183	+9.3%	百万ドル

・クラスター別構成比 (前年同期比)

(億本/百万ドル)

2019Q2	総販売数量		GFB販売数量		自社たばこ製品売上収益	
SWE	333	+1.5%	270	+1.5%	1,031	-2.8%
NCE	271	+3.9%	136	+17.7%	1,040	-1.3%
CIS+	635	+3.4%	443	-4.4%	1,301	-5.4%
RoW	987	+15.5%	514	+11.5%	2,148	-3.0%
Total	2,225		1,363		5,520	

2. クラスター/市場別 総販売数量 (前年同期比)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+3.8%	-0.6%			+1.5%
France	+0.5%	-0.8%			-0.1%
Italy	+1.1%	-0.1%			+0.5%
Spain	+2.4%	-1.7%			+0.3%
NCE	+5.1%	+2.9%			+3.9%
Germany	+12.2%	+0.8%			+6.0%
UK	-5.2%	-0.6%			-2.9%
CIS+	-1.9%	+7.9%			+3.4%
Romania	+0.6%	-0.9%			-0.2%
Russia*	+1.7%	+16.0%			+9.4%
RoW	+13.5%	+17.5%			+15.5%
Iran	+6.0%	+11.5%			+8.7%
Taiwan	+12.6%	+4.1%			+8.2%
Turkey	+9.5%	+28.3%			+18.8%
Total	+6.5%	+9.8%			+8.2%

* 2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

3. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	355	398			753
	+1.7%	+2.6%			+2.2%
Camel	139	147			286
	+6.0%	+7.7%			+6.9%
MEVIUS	40	41			81
	+6.6%	+1.7%			+4.0%
LD	110	132			243
	+7.3%	+9.8%			+8.6%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+5.3%	-2.2%			+1.5%
France	+8.5%	-2.7%			+2.6%
Italy	-0.5%	-1.3%			-0.9%
Spain	+2.7%	-2.6%			+0.0%
NCE	+20.2%	+15.6%			+17.7%
Germany	+22.0%	+19.4%			+20.5%
UK	-23.6%	-24.2%			-23.9%
CIS+	-6.6%	-2.6%			-4.4%
Romania	-1.1%	-3.6%			-2.5%
Russia	-5.5%	-1.2%			-3.1%
RoW	+9.0%	+14.0%			+11.5%
Iran	+3.0%	+8.8%			+5.8%
Taiwan	+14.6%	+4.3%			+9.2%
Turkey	+11.8%	+33.2%			+22.4%
Total	+3.8%	+4.8%			+4.4%

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均				
	2018 6月	2019 6月	増減	2018 Q2	2018 Q3	2018 Q4	2019 Q1	2019 Q2
France	22.5%	24.0%	+1.5%pt	23.3%	23.5%	23.6%	24.3%	24.5%
Italy	23.4%	24.2%	+0.8%pt	23.8%	23.9%	24.2%	24.3%	24.4%
Russia *	33.3%	38.7%	+5.4%pt	32.9%	37.3%	38.8%	39.1%	39.6%
Spain	24.3%	25.1%**	+0.8%pt	24.8%	24.9%	25.2%	25.3%	25.5%**
Taiwan	41.6%	43.9%	+2.3%pt	41.9%	42.6%	43.5%	44.5%	45.0%
Turkey	28.1%	28.3%	+0.3%pt	27.5%	27.8%	27.7%	27.7%	30.3%
UK	40.6%	42.4%	+1.8%pt	41.0%	41.6%	42.0%	42.7%	43.3%

Source: IRI, Nielsen, Logista, JTI推計 / 出典元の過去データ修正も反映しています。

* 12か月移動平均シェア、3ヶ月平均シェアのいずれも2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

** 2019年5月時点の、12か月移動平均および2か月平均を採用しております。

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2019	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	551	550			1,101
	+6.0%	+1.5%			+3.7%
NCE	521	594			1,115
	+6.2%	+5.4%			+5.8%
CIS+	619	793			1,411
	-1.9%	+6.5%			+2.7%
RoW	1,250	1,311			2,560
	+15.3%	+15.8%			+15.6%
Total	2,940	3,247			6,187
	+7.9%	+8.9%			+8.5%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

・ドルベース						(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2018	2,724	2,981			5,705	
数量差	+64	+108			+173	
価格差/Mix	+151	+158			+309	
2019 為替一定	2,940	3,247			6,187	
FX	-338	-329			-667	
2019	2,602	2,919			5,520	

・円ベース						(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2018	2,948	3,252			6,200	
Operations	+233	+291			+524	
現地通貨 vs. 米ドル	-366	-359			-725	
円 vs. 米ドル	+52	+23			+75	
2019	2,868	3,207			6,075	

8. 要因別 調整後営業利益実績

・ドルベース						(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2018	890	1,082			1,971	
数量差	+34	+48			+82	
価格差/Mix	+143	+146			+289	
その他	-59	-129			-188	
2019 為替一定	1,008	1,147			2,155	
FX	-199	-271			-470	
2019	809	876			1,685	

・円ベース						(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	
2018	963	1,180			2,143	
Operations	+128	+71			+199	
現地通貨 vs. 米ドル	-215	-296			-511	
米ドル vs. 円	+16	+7			+23	
2019	892	962			1,854	

9. 実績為替レート (前年同期比)

	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2019 YTD
\$/RUB	66.12	64.56			65.34
	14.0%安	4.3%安			9.2%安
\$/GBP	0.77	0.78			0.77
	6.4%安	5.5%安			6.0%安
\$/EUR	0.88	0.89			0.89
	7.5%安	5.8%安			6.6%安
\$/CHF	1.00	1.00			1.00
	4.8%安	1.8%安			3.3%安
\$/TWD	30.82	31.10			30.96
	4.9%安	4.3%安			4.6%安
\$/TRY	5.36	5.87			5.62
	28.9%安	25.8%安			27.3%安
\$/IRR	88,454	104,688			96,571
	47.3%安	58.6%安			53.4%安
\$/JPY	110.22	109.90			110.06
	1.8%安	0.7%安			1.3%安

現地通貨 vs USD増減率：(前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

円 vs USD増減率：(各期のレート/前年同期のレート) -1で算出

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

たばこ事業データ

国内たばこ事業

当第2四半期より、紙巻たばこの総需要・販売数量・千本当売上収益・シェアにリトルシガーを含み、過年度数値についても遡及修正しております。

1. サマリー（累計）

	2018 Q2	2019 Q2	増減	増減率	
紙巻たばこ総需要（自社推計）	660	612	-48	-7.2%	億本
紙巻販売数量	404	373	-30	-7.5%	億本
紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2018Q2実績：20億本、2019Q2実績：20億本）およびRRP販売数量を含んでいません					
自社たばこ製品売上収益	2,722	2,823	+101	+3.7%	億円
調整後営業利益	1,035	1,092	+57	+5.5%	億円

2. 紙巻販売数量

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	195	208	238	178	820
2019	179	194			
前年同期比増減率	-8.2%	-6.8%			

3. 紙巻千本当売上収益

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2018	5,895	5,938	5,912	6,355	6,011
2019	6,407	6,391			

千本当売上収益 = {販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税（国税） - たばこ税（地方税） - たばこ特別税（国税）} / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別RRP製品関連計数

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019					
RRP販売数量	6	8			14
RRP関連売上収益	124	181			304

5. 要因別 財務実績

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
自社たばこ製品売上収益					
2018	1,293	1,429			2,722
紙巻数量差	-95	-84			-179
紙巻単価差	+92	+88			+180
RRP/その他	+44	+56			+101
2019	1,335	1,489			2,823
調整後営業利益					
2018	489	546			1,035
紙巻数量差	-79	-70			-148
紙巻単価差	+92	+88			+180
RRP/その他	+8	+18			+25
2019	510	582			1,092

6. 紙巻シェア（出典 自社推計）

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
JT Total					
2018	61.2	61.2	62.1	60.9	61.4
2019	61.0	61.0			
MEVIUS					
2018	30.9	31.7	32.1	29.9	31.2
2019	30.3	30.6			
Winston					
2018	8.0	8.0	7.8	8.2	8.0
2019	7.8	7.8			
Seven Stars					
2018	7.8	7.9	8.2	7.6	7.9
2019	7.9	7.8			
Natural American Spirit					
2018	2.0	2.0	2.0	1.8	1.9
2019	1.9	1.9			

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2019年7月31日現在)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	備考
JTE-052 (delgocitinib)	アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	申請中 (国内)	自社品 鳥居薬品と共同開発 *小児: Phase3 (国内) 実施中
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)	自社品
JTZ-951 (enarodustat)	腎性貧血 /経口	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	Phase3 (国内) Phase1 (海外)	自社品 鳥居薬品と共同開発
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化させるシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2 (海外)	自社品
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2 (海外)	自社品
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品
JTT-751 (クエン酸第二鉄水和物)	鉄欠乏性貧血 /経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、体内で赤血球中のヘモグロビンの成分として使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	Phase3 (国内)	導入品 (Keryx Biopharmaceuticals社) 鳥居薬品と共同開発 効能追加として開発

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時 (2019年4月26日) からの変更点

なし

(参考)

・JTT-751 (効能追加) :

日本国内で実施中の第Ⅲ相臨床試験のうち、鉄欠乏性貧血患者を対象とした比較試験の速報結果を受領

有効性の主要評価項目において本剤の対照薬に対する非劣性が確認され、安全性に関しては、本剤の良好な忍容性が確認された (2019年7月9日)

・JTZ-951 :

日本国内で実施中の第Ⅲ相臨床試験のうち、透析導入前 (保存期) の腎性貧血患者、及び赤血球造血刺激因子製剤 (ESA) による治療を受けている血液透析施行中の腎性貧血患者を対象とした2本の臨床試験の速報結果を受領

両試験において、有効性の主要評価項目において本剤の対照薬に対する非劣性が確認され、安全性に関しては本剤の良好な忍容性が確認された (2019年7月12日)

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース 調整後営業利益 （全社）	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB （Global Flagship Brands）	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量 （海外たばこ事業）	水たばこ/RRP/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek を含む
自社たばこ製品売上収益 （海外たばこ事業）	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 （海外たばこ事業）	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計） RRP やリトルシガー等を含む。
紙巻総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模（自社推計） リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
紙巻販売数量 （国内たばこ事業）	国内免税販売及び中国事業の販売分を除く、JT 紙巻たばこの販売本数 リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
RRP 販売数量 （国内たばこ事業）	国内免税販売分を除く、JT の RRP の販売本数（1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算） デバイス/関連アクセサリ等は含まない
リトルシガー （国内たばこ事業）	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品。 たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される。
自社たばこ製品売上収益 （国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む
RRP 関連売上収益 （国内たばこ事業）	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む RRP の売上 （国内免税販売分の売上を含む）
手元流動性	手元流動性 = 現預金 + 短期保有の有価証券 + 現先
有利子負債	有利子負債 = 2018 年 12 月末：短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債 + リース債務 2019 年 6 月末：短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債* *2019 年度より、有利子負債からリース債務を除外
FCF	FCF = 営業活動 CF + 投資活動 CF ただし以下の項目を除外 <ul style="list-style-type: none"> 営業活動 CF から、リース取引から生じる減価償却費、利息及び配当金の受取額とその税額影響、リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響 投資活動 CF から、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他 ※IFRS16 号を適用しておりますが、当初見込みから変更はございません

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１） 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２） たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３） 国内外の訴訟の動向
- （４） 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５） 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６） 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- （７） 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８） 国内外の経済状況
- （９） 為替変動及び原材料費の変動
- （１０） 自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門 2-2-1 JT ビル
03-5572-4292（代表）